



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	高砂香料工業株式会社 プロセス開発研究所新築計画	BEE	1	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.5	/5	ふつつ			
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.0	/5	ふつつ			
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.3	/5	ふつつ			
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.9	/5	がんばろう			
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい	ふつつ	がんばろう
			4	3	3	点未満
			点以上	点以上		

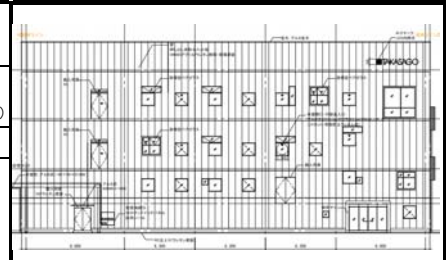
3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		得点		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		3.5		
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④主要内装仕上げ材、給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし。</p> <p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦断熱性能が高い材料を使用している。</p> <p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水型便器を使用している。 ⑬LGSを使用し躯体と仕上げ材が容易に分割しやすようにしている。</p> <p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 特になし。</p>	<p>Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能</p> <p>Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備</p> <p>3.2 3.2.1 ③ 昼光制御</p> <p>Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数</p> <p>2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔</p> <p>2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔</p> <p>2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔</p> <p>2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔</p> <p>2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔</p> <p>Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出</p> <p>3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上</p> <p>LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制</p> <p>2 ⑧ 自然エネルギー利用</p> <p>3 ⑨ 設備システムの高効率化</p> <p>4 4.1 ⑩ モニタリング</p> <p>4.2 ⑩ 運用管理体制</p> <p>LR-2 1 1.1 ⑪ 節水</p> <p>1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無</p> <p>1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無</p> <p>2 2.1 2.1.1 ⑫ 材料使用量の削減</p> <p>2.1.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用</p> <p>2.1.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用</p> <p>2.1.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</p> <p>2.1.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材</p> <p>2.1.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み</p> <p>3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用</p> <p>3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤</p> <p>3.2.2 ⑬ 断熱材</p> <p>3.2.3 ⑬ 冷媒</p> <p>LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮</p> <p>2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善</p>			
	"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		3.0	
	<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特になし。</p>	<p>Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性</p> <p>2.1.2 ⑯ 免震・制振性能</p> <p>2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備</p> <p>2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備</p> <p>2.4.3 ⑰ 電気設備</p> <p>2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法</p> <p>2.4.5 ⑰ 通信・情報設備</p>		
	"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		3.3	
	<p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑱階高はゆとりをもった計画とした。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 特になし。</p>	<p>Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画</p> <p>3 3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり</p> <p>3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ</p> <p>Q-3 3 3.1 ⑳ 地域性への配慮、快適性の向上</p>		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		2.9		
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑵生物環境の保全と創出/⑶まちなみ・景観への配慮/④敷地内温熱環境の向上) 特になし。</p> <p>■敷地外環境対策 (⑤温熱環境悪化の改善) 特になし。</p>	<p>Q-3 1 ⑵ 生物環境の保全と創出</p> <p>2 ⑶ まちなみ景観への配慮</p> <p>3 3.2 ④ 敷地内温熱環境の向上</p> <p>LR-3 2 2.2 ⑤ 温熱環境悪化の改善</p>			

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	高砂香料工業株式会社 プロセス開発研究所新築計画	階数	地上4F、地下0F
建設地	静岡県磐田市海老塚1-1、1-2、1-3、2-1、2-2、4、5	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2019年10月10日
敷地面積	53,453 m ²	作成者	春永有梨子
建築面積	818 m ²	確認日	2019年10月11日
延床面積	2,534 m ²	確認者	後藤啓太



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。また主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。CASBEE静岡2016年版による評価結果である。	その他 特になし。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	断熱性能が高い材料を使用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率89%
Q2 サービス性能	主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。	
LR2 資源・マテリアル	LGSを使用し躯体と仕上げ材が容易に分割しやすいようにしている。再利用できるユニット部材としてOAフロアを用いている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい